

新武士道の國際的運動に 就いて

高島平三郎

機械といふものは何時もあるものではない、一朝車があつて——必ずしも戦時ばかりではなく、どういふことがあつて機械力の頼まれぬことがあるかも知れぬ。その場合には勿論自分で衣食の途を得なければならぬのに、機械万能では仕方がない。實に文明の弊である、のみならず小學校が出来て居つても現に倫敦の町などでも學校へも行かないで、さうして悪い事をして居る者が澤山ある。斯ういふ子供は訓練を施せば發達する、子供には所謂可教性ドレリターが銳いのに捨て、置いてはならぬ、教へねばならぬ。人間は觀察力を養ふ必要がある、外界を認識して自分の外に何がある、それが何になる。此處にあるものはどういふ原因で此處に來たか、これが吾々にどういふ關係があるかといふやうに、總てを觀察し推理して行くことが大事である。それには子供の喜ぶ野外の運動、遠足といふやうなとをさせて、さうして所謂スコーティングをやらせる。軍隊で斥候といふものは、非常な注意觀察力を要する、第一に觀察は頭が

クリアアであつて、判断が正しくならなければ出來ない。それゆゑ少年をさういふことに向けると、非常に喜んでやつて自然に自己の精神を啓發する。そこで之を指導してスコートングを行はしめ、色々自然物に接して觀察力を養ひ、推理力を養はしめる。さうして行く先でキャンプライフをして、衣食住のことを自らさせる。かういふ生活をさせたら宜からうといふのでこの事を始めました。

然るに其當時に於ては毀譽褒貶が區々で、第一に少年を軍國主義に化するといふ非難がありました。これはパウエルが陸軍中將であり、又其動機が戦争に行つて居つて、文化人の役に立たぬことを知り、軍人がやり出したといふのですから、愈々軍國主義を鼓吹するものだといふ非難を受けたのであります。それにも拘らずベーデンパウエル其人の人格の力と熱心の致す所でありませうが、英吉利で段々盛んに行はれて來ると共に、大陸にも移り亞米利加にも日本にも移つて來ました。現に今日此處にお出になつて居ります北條時敬君の如きは、英國にお出になつた時、實際の状態を御覽になつて非常に感じられて、廣島の高等師範學校長時代に日本にも此事をやつたら宜からうといふことでお企てになり、部下の方に研究をさせられたといふことを伺つて居りますが、何時も日本人で心ある人はあちらでボイスカウトのやつて居ることを見て、非常に感心して歸つて來るのであります。此間の大戦争に於てもボイスカウトは非常に役に立つた。併し決して軍人を造る爲めとか軍隊の準備とかいふことではない。詰り人

間を造る爲めである。成程ボイスカウトをやつた者が軍人になれば確かに宜い軍人になるに違ひない。併しそれが又學者になり、それが實業家になれば、少年團の訓練を受けぬ者よりも必ずよい學者、よい實業家になるに違ひない。決して軍人を造る目的ではないのです。けれどもそれが一朝事あつて自分の力で何でもせなければならぬといふ時になると、非常に平常の訓練が役に立ちます。殊に精神的訓練が大に役に立つのです。少年團の精神訓練は所謂武士道の神髓に合して居るのであります。

二

併しそれが大發展をなして、今日の如き國際的になつたのは、最近の事でありませぬ。即ち此度の世界戦争に依りまして、つくなく世界の各國がどうかせねばならぬ。此國民の精神が斯の如くなつて來たのをどうかせねばならぬといふことを感じまして、各國の識者は皆いふといはざるとに拘らず、いろいろと考へました。さうして今日の狀態即ち戦争後の人心を直して行くことには、ボイスカウトに依るといふことが、多くある方法の中の最も有力のものの一であるといふことを覺つて來まして、俄然として盛んになつて參りました。

是れは戦争中に役に立つといふ爲めではありません。實は戦争後各國共に人心の頹廢が甚だしいのです。今茲で精しく英吉利がどうなつた、佛蘭西がどうなつたといふことを、申して居る暇はありません。

し、又あちらへ行つて調べたのではありませぬゆゑ、悉しいお話は出来ませぬが、唯私は思想の問題には始終心を用ゐて居りますゆゑ、自分の調査をすることの出来る限り調査を致しましたが、何處の國も人心の頹廢しようが甚しい、丁度今日の我國のやうな状態が戦争後早く向ふには起つて、あの道德の堅固を以て誇つてゐた英吉利さへも色々の方面に頹廢して參りました。そこで千九百二十一年、二年頃の英吉利に於ての新聞に雑誌に頻りに此事が問題になりまして、現に倫敦タイムスの如きは此儘に措いては、實に英吉利はどうなるか、人心は此通りに頹廢して來て、不良少年少女は多くなつて來た。さうして學校の教育を見ると、知育にばかり偏してしまつて、德育訓練といふことが疎かになつて居るといふやうに、丁度今日の我國と同じことを舉げて論じて居ります。

其中に國民の弱點を挙げ、其原因を説き又その起つて來る端緒を示し、さうして如何にそれを防止するかといふやうなことを述べて居るのであります。是は英吉利の例でありますが、世界で一番社會道德が進んで居つて、所謂セントルマン即ち世界の君子といはれる國民と誇つて居た其國が、今茲に私が舉げますやうに頹廢したのであります。以て他の國の有様を察することが出来ます。獨逸の話を書きましても、佛蘭西の話を書きましても、實に驚くべき悲惨の話や、又人心が頹廢し墮落して風俗の亂れて居るといふ事實があるのであります。そこで今茲に、ボイスカウト運動などの戦争後殊に盛んに起つて來

た原因となり、ます所の倫敦タイムスなどで論じました英吉利國民の弱點として擧げましたことをお話しして、如何に是が我國の状態とよく似て居るかといふことを御承知を願ひたい。

三

先づ大英國國民の弱點として擧げましたのは、信仰心がなくなつて來たといふことが第一です。それから不規律、愛國心缺乏、我儘、墮落、人のことを考へない、殘忍である。是だけを一つのグループとして擧げて居ります。さうして、是はごういふ原因から來たかといふと、良心の向上を圖らぬからである。コンシエンスなどといふことは昔の者のいうたことだ、そんな事を説くのは時代遅れだといふやうなことをいふものさへ歐洲にはいくらもあるといふ通信を受けたこともありますが、其様に良心の向上といふやうなことを圖らぬことが原因になつて、不信心、不規律などの缺陷が起つて來たといふのであります。

又其他に一つのグループとしまして犯罪が多くなつて來た。それはもう確かに事實で、戦争後犯罪者は非常に多くなつて來た、それから精神錯亂が多くなつて來ました。貯蓄心が無くなつて貧乏者が殖えて來た、是等は色々の原因もありませうが、其原因としてタイムスの記者は暴飲の爲めである。餘り酒を飲み過ぐる爲めに犯罪者が殖え、精神錯亂者が殖えて來たのであるといふて居ります。又他のグル

一に擧げて居りますのは虚飾、浮浪、無頼、破廉耻、賭博、不品行、疾病等が殖えて來た。精神病ばかりでなく色々な病が殖えて來た、是は其原因を放縱の爲めである。餘り我儘にして節制をせず、無茶苦茶なことをする爲めだといふ風に書いて居ります。それから其良心の向上を圖らぬとか、或は暴飲をするとか、放縱になつたとかいふことは其端緒は何處から來るかといふと、自律心（セルフコントロール）の缺乏であるとして居ります。自分で自分を律して行くことが無くなつたのが、その端緒であるといふのです。今諸君が之を御聽きになつただけでも、如何に我國の現状と似て居るかを觀察し下さるに足ると思ひます。

又其外にまるでそれと違つたグループとして現れて居るのは、不品行（是は多く身體に關して居りますが）卑屈、自暴、低能、不具者の殖えて行くことです。さうして此原因を何に歸して居るかといひますと、兩親の無智、無責任の爲めであるとして居ります。兩親に智慧が無く、責任を無視し、自分だけ享樂主義をやつて居て、子供を顧みぬのみならず本當に子供を教育し養育して行く智慧がない爲めに、不具低能といふやうな者が殖えて來たのである。其端緒は何處から來たかといふと、躰育を顧みず衛生といふことを考へぬ爲めに、斯ういふ風になつて來たと考へまして、深切にもそれをどうして療治するか、今のやうな國民の弱點を除くには、どうしたら宜いかといふと、自律心の缺乏といふことが端緒に

なりました。弱點に對しては要するに人格を涵養せねばならぬ。古い言葉であり、空漠たる言葉のやうであるけれども、本當に個人個人の人格を立派にするより外、之を防止する途はない。是れには私も滿幅の精神を以て賛成いたします。

扱其人格涵養といふことは、いふは易くして行ふは難い。どうして人格を涵養するかといふと、それは又此に訓練の方法が擧げてあります。

それは第一に善良なる環境を造らねばならぬ。グッドエンヴァイロメントが、人格を涵養するに最も大事なことである。又名譽の觀念といふことが大事である。耻を知らなくなつた程、仕方がない人間はない。又義務の觀念が必要です。權利ばかり言ひ張つて自分が何をしなければならぬといふことを考へぬでは駄目である。自律心を養ふこと、責任の觀念を有たすこと、又唯斯ういふ道德的精神のこののみでなく、人格の内容にはその他に行爲に現はして行く方面の事もありますから、其方面にも注意を拂つて工夫に富ますことが必要である。人間が墮落して來るといふのは何か考へ出してやつて行く働きの無い爲めに、仕方がなく墮落するといふことが幾らもある、或困難に處して、工夫して行くといふことがないと墮落するから、工夫に富ましめること、手工に巧みになること、手業が巧みであるといふことは人に取つて大事なことであります。

又自然に親んで神を體得するといふのがあります。是は最も意味のあることであります。自然界に親んで如何に自然の雄大なものであるか、美しいものであるかといふことを眞に自分が體験する。自然と離れて所謂人工的の文化生活ばかりして居る者には、眞の自然の恩恵は分りません。然るに山に行くとか野に出るとかして、人工的の何物も無く、自然に頼るより外にないといふ場合になると初めて自然の力の偉大なること、美しいこと、有難いことも分る。大震災に遭遇して東京人が初めて痛切に水の貴いことを知り、初めて痛切に太陽の光の貴いことを知つたといふやうな譯で、自然に親んで神を體得する。次に實踐宗教で議論でなく初めより實際に宗教上のことを行つて行く、それから堂々たるゲーム、決して卑怯なことをやらない、所謂スポーツマンスピリットを以て堂々とやつて行く所の遊戯、斯ういふことで人格を養つて行く、又他人を助けるといふこと、子供の時からどんな小さな事でも他人の爲めにしてやるといふことを實際にやらせるといふことが、人格を修養する大事なことになる、それから國家に對する應分の奉公、是が殊に大事であります。國家に對する御奉公などといふと、直ぐに戰爭をする軍人になるといふことであるが如く、今まで思ふて居る傾がありました、それは間違つた狭い考へであります。小さい時から子供は子供、女は女、貧民は貧民、富者は富者と各自の分に應じたことをさせ、之に依つて人格を造つて行かなければならぬといふことを述べて居ります。

又身躰の方に關係しては、どうして不健康であつたり、不潔であつたり、嬰兒が死亡したり、低能者や不具者が多くなつたりするのを防いで行くか、各人の健康を増進することが第一である。各人が其健康を進めて行く所の智識を有つて、それを實行させるより途がない。それにはどういふことをするかといふと、健康の増進には屋外の運動をさせる。是はもう所謂文化生活をして天然に遠ざかつて、町の中に居るといふやうな者には、特に大事である。標準の躰格に達するまで、自分の發達するやうに皆志さしめねばならぬ。國家は宜しく其標準躰格を決めて各人がそれに達するやうにするがよい。例へばどれだけの寸法の身長のある者は、どれだけの重さになるのが標準だといふ風にして、それに達するやうに期せしむる。それから健康法や衛生法の智識を各人に與へて、それを實行させる。是より外に途はないといふて居ます。

四

斯の如くして大英帝國として、最も道德が進んで居るといはれた國でさへも、實に國家の前途が危いといふて其匡救の道を説いて居る位である。世界各国皆是なりで、唯斯の如く氣がついて國民が擧つてその匡救に力を盡すといふ國と、そうでないといふ國との違ひはあつても、何處の國でも先づ大體斯ういふやうに人心が頽廢して居るのです。之を救ふ方法としては無論學校教育も必要であり、家庭でも氣

を付けねばなりません。その外社會一般の教育に於ても氣を付けねばなりません。今舉げました訓練の方法はボイスカウト、即ち日本で少年團と譯して居ります所の團體訓練で善良の環境を造り、名譽の觀念及び自律心を養ひ、且つ工夫に富ましめ手工に巧みならしめ、堂々たる勝敗の遊戯をやらせ他人を助ける働をする。或は屋外の運動をなさしめ、或は健康法や衛生法を教へて而かもそれを實行せしめるといふやうなことを悉く實行して居るのであります。

さういふ事より段々世界的の少年團の運動が進んで參りまして、四年毎に各國が引受けて、所謂ジャンポリー Jamboree といふことをやるやうになりました。ジャンポリーといふことが、始めて日本で唱へられた時には、随分色々の誤解があつたり又滑稽の話がありました。ジャンポリーといふことは元亞米利加インディアンの言葉で、英語にはスラングとして用ゐられて居て、唯坐つてじつとして遊ぶといふことになしに、荒い運動をして遊ぶとをいふのであります。何故そんな亞米利加インディアンの言葉なごを使つたかといふと、詰り少年團の運動は人間を赤裸々にしてしまつて、色々機械を使つた所謂文化といふとから離れてナツールメンシ、即ち自然人に還してしまつて、大自然の懐に入らしめ野蠻人、原始人、自然人が大自然の中で自分で工夫して生活するやうに、其中で身軀を鍛鍊して行くといふとが一番の根底になつて居りますから、それで殊更に亞米利加インディアンの言葉であるジャンポリーなどい

ふ言葉を使つたのでありませう。

茲で一寸餘談ながら申上げて置きますが、是も一つの英吉利の國民性の現れて英國人は仰山の名を付けぬのです。ボイスカウトというても、斥候といふ小さな名であります。斥候は小さな仕事で何でもないやうですけれども其少年斥候といふ名の下に偉大な訓練をして居る、名は實に小さな名である。ジャンポリーというて野蠻人が集まつて戯れて遊ぶといふやうな、丁度日本でいふと村のお祭に出て皆が騒ぐといふやうな詰らない名を付けて、さうして有ゆる少年のやる運動、少年團の精神を發揮するやうな訓練をやらせるといふとは、確かに英吉利人のあゝいふ質實なさうして何時までも執念く名を取らずして實を取つて行くといふ國民性が現れて居ると思ひます。之を我國のものに比較して見ますと、大日本何々というて名は非常に立派であるが、裏店の二階にその札が掲げてあつたりする。居る所は下宿であらうが裏店の二階であらうが、眞に其名に伴つたとをすれば宜いのでありますが、其名に伴つたとが出来ぬでは耻しいとであらうと思ひます。ジャンポリーなどといふ名を付けたとは却つて床しいとであると思ひます。

五

そこで何故私が新武士道といふ名を付けたかといふと、ベーデンパウエルが阿弗利加から歸つて來て

少年訓練の將來をどうしたら宜からうかといふことを考へた時に、日本の武士道が頭に浮んだのでせう。パウエルが日本の武士道をどうして研究したかと思つて、詳しく調べたいと色々心掛けて居りますが、まだ十分に分りませぬ。何しろパウエルは日清戦争、日露戦争に就いても非常に日本の軍隊の事などに注意を拂つて、よく知つて居ります。少年團のとき書いた中に、日本軍人の例を引いて居ります。日本の軍人は清潔である、規律が正しい、大變忠義であるといふやうな例が引いてあります。

是れは日本の軍隊が強いといふことから注意されたか、それとも何かの書物でも讀んだか、新渡戸稻造君の著述された『武士道』といふ本は、御承知の通り世界各国に行き渡つて居りますから、パウエルも讀んだと思ひますが、併しあれを讀んで少年團といふことが頭に浮んで來るものではない。恐らくは、私は鹿兒島のニセ組といひますか、小さい子供の社が本であらうと思ひます。兵子組即ち健兒の社といふと、大分大きな人で、十八交りを結ぶ健兒の社と申しますが、其下には小さな子供の舎がある。それがニセの組であります。私も先年調べに行つてその舎に行きましたが、今は餘程様子が變つて居ります。兎に角其所で話をしたり様子を聞いたりして來ましたが、鹿兒島といふ所は英吉利と非常な關係がある。之に又面白いエピソードがあります。

是れは諸君の御承知の通り生麥の事件から、英吉利が軍艦數隻を以て鹿兒島灣を攻めたことがあります。

す。その時に英國人は恐らくは一溜りもなく鹿兒島は撃破されると思つたでせう、併し英吉利人は鹿兒島のとがよく分らなかつたので、段々軍艦を進めて行くと思ひも寄りぬ所から發砲されて、非常に狼狽へて錨を切つて逃げて行つたといふことがある、軍艦が錨を切つて逃げて行くといふとは、是程の耻辱はない、無上の耻辱である。それゆゑ幕府からも鹿兒島藩からも償金を出して事が濟んだ後に、英國ではいくら金を出しても錨を戻して貰ひたいといふとを申し込みましたが、鹿兒島藩はいやもう和睦した後だからと只で返してやつたのです、そこで英國は非常にそれを徳としました。我國を訪ふ英國の有名な人は特に鹿兒島に興味を有つやうになつたと思はれます。それゆゑ英吉利の皇族が御出になつても、必ず鹿兒島に御出になる、コンノート殿下も御出になり、此間のプリンスオブウエルスも御出になりました。鹿兒島に行つて鹿兒島のとを研究し鹿兒島のとは英國に比較的よく分つて居ます。それが恐らくは元になつてパウエルが少年團の組織にヒントを得たと思ひます。

パウエルが自分に私が少年團をやつたのは、日本武士道の精神を採つてやつたのであるというて居ます。是れは我が攝政宮殿下が一昨々年あちらへ御出になつた時に、少年團のとを御聞きになりたいといふ御思召を傳へられました所が、之を聞いてペーテンパウエルは珍田伯に懇ろなる手紙を贈つて、其中に斯ういふ趣旨で拵へたといふとが書いてあります。今日は其手紙の全文を持つて來るとを忘れました

が、其手紙を読むと日本武士道の精神に基いて少年團を造つたといふことを述べて、此事を殿下に申上げて貰ひたいといふことが書いてある。又日本から參つた者にパウエルが話した所も少年團は日本武士道に依つて造つたのだというて居ります。

亞米利加の勞働黨が少年團は軍閥を造るものである、軍國主義を教へるものであるといふことで反對したけれども、それとは違ふからどうか誤解しないやうにして呉れといふことをパウエルが申して居ります。實際少年團といふものは新しい武士道である。併し今日武士の階級はない。日本の武士道は武士階級に行はれたものである。今日の如き階級を撤廢する時に武士道などいつても行はねぬ話でありますけれども、何故に私が特に武士道などといふ名を附けたかといふと、それには理由があります。不思議な事には日本の此頃の有様は非常に外國崇拜です。常態ではない程です、或人は猶太の宣傳だといひますが何でも自分の國の文化は詰らないといふとが深く國民の頭に這入つて居ります。殊に青年男女が日本は詰らぬ國だ、斯んな厭やな國はない。西洋は實に善い、一切の文化、一切の善い事は西洋にありと思つてしまつて居ります。是れは實に滑稽な話であります。

六

文部省の留學生で其人はもう亡くなつたのでありますが、巴里へ參つて幼稚園から大學まで研究しよ

うと思つて幼稚園へ行つて見た所が、佛蘭西でも日本と同じやうな折紙をして鶴を折つたりしてゐる。併し今日はあんなものばかり見たけれども、明日行つたらもつと變つたのをやつて居るか知らん、又明日行つて幼稚園で研究するといつて話した。

それを工科大學の塚本靖といふ私の親しくして居る人が、側に居て聽いてそれはお前が何日行つて見た所が新しいものがあるものではない。十數年前に、小西信八君が來て佛蘭西へ傳へたものだ——小西信八といふ人は古い教育家であります。皆さんの中には御存知の方もありませんが、前には盲啞學校長でしたが、今は聾啞學校の校長をして居られます。この人が幼稚園の園長をして居る頃は、毎日子供と一緒にやつて、まるで子供になつてやつて居つた熱心な教育家であります。佛蘭西へ行つて色々幼稚園で恩物を持つてやつて居るのを見て、私の國には昔から斯ういふものがあると傳へた所が、佛蘭西人も敬服して、早速幼稚園でそれを使つたのであります。恐らくは今でも佛蘭西では使つて居ると思ひますが、クレッシ、佛蘭西ではキンデルガルデンといはずに、クレッシといつて居ますが、日本の幼稚園と託兒所とを兼ねたやうなものであります。そこで行つて居る事を日本から傳へたのを知らずして、佛蘭西で斯ういふことをやつて居るから、まだ外の事があるだらうと思つて居たので、其の話をすると非常に驚いたといふことであります。

又東京の或紳士が娘さんに頼まれて、英吉利のピアノが宜いといふので英國でピアノを買つて來ました。それは五六千圓もするのを大さうな運賃を取られ、關稅を取られて買つて來たのです。それを使つて居る中に其舶來のピアノの何處かが毀れて、それを修繕する爲にひつくり返して見ると、メード、イン、ジャバンと書いてありました。それは濱松の工場で拵へたもので、それが英吉利へ行つて居たのをその紳士は英國製の良品と信じて買つて來たのでした。さういつたやうな類の事が物質界にも精神界にも澤山あります。

是れは他の話になりますが、黒田清輝君のやうな日本人であつて一生にあれだけの作をする、あの用意といふものは非常なものである。而かもコーランの高弟で殆どコーランの壘を摩するといふ位であるが、我國では餘り重きを置かれず、却つて非難の聲さへ聞きました。併し黒田君が佛蘭西人であつたならば我國人は驚嘆する所でせう。實に我國人が自分の國の事を知らずに西洋の事のみを尊ぶのは、不思議に思はれます。それはつまり自國の事を知らないから仕方がないのです。

我國の三味線は非常な野蠻なものである。希臘の三千年前の音樂と同じだといつて惡口をいふ邦人がありましたが、此頃段々三味線を研究した人の話に由ると、西洋の音樂は日本の三味線に依つて今迄のドレミハソラシの七つの階段をもつと擴張しなければいかぬといつて、それで改正することになつて居

る。畫の方でもマチスとかゲーグとかゴーガンとか或はロダンのやうな——此の人は純粹の畫家ではありませぬが、——皆日本の浮世繪を見て、それにヒントを得て作風が變つたといはれる程です。斯んなことを挙げれば限りはありませぬが、さういふ風に自分の國に美しいものがあるに拘はらず、而かも自分の國にあるものを西洋の人が學んだ、それを忘れて西洋から來ると西洋の事が宜いと思つて居るのは、私は實に残念に思ひます。

七

少年團の訓練は武士道である。日本の武士道の精神を採つてそれに現代の肉を附け、衣を附け加へて行つたのである。鹿兒島などで昔やつたことをベーデンパウエルが採つて行つたのであります。鹿兒島でなくても侍の家では皆さうであつたのであります。子供の時に教へを受けたやうなどが少年團の精神となり、教課となつて居るのであります。

諸君は御承知でありませうが、少年團に指を三つ擧げて敬禮をすることがあります。是は世界的になつて居るので何の爲に指を三つ擧げて敬禮するかといふと、少年團の三綱領を始終忘れないやうに頭の中に入れる爲めであります。其三綱領は英吉利は君主國であるから丁度日本と同じやうであります。國體の差異によつて多少違ひます。英吉利では神と皇帝とを敬へといふとを第一に教へます。二番目は人

の爲にせよ、人を愛せよ、三番目はボイスカウトの規則に服従しろといふとを教へる。神と皇帝を敬ふといふと、人を愛し人の爲にするといふと、其規則に服従するといふと、此三つの魂が無かつたら何處の國であつても國は成立しません。假令國は成立しても、民族の發展する事が出来ません。服従といふとが無くてどうして國家が出来ませう。人を愛し人の爲にする精神が無くてどうして共存共榮する事が出来ませう、言ひ方は違ひますけれども、是は武士道の魂であります。

日本では此頃少年團日本聯盟に於て、皆寄つて研究を致しまして、多分私が唯今申上げますやうに決すると思つて居りますが、神明を尊び皇室を敬ふといふとが第一箇條、第二は人の爲め國の爲め世の爲めに盡します、第三は少年團の掟に従ひます、といふとであります、全く精神は英吉利のど少しも違ひません。亞米利加や佛蘭西のやうな處では君主がないから國を大切にするといふ風に幾らか國に依つて違ひますけれども、要するに此三つの魂であります。御覽なさい、武士道に於ては天地神明、弓矢八幡、奈良春日大権現といふやうに何時も天地神明に誓ふといふとが、武士の慣例であつた。さうして昔の武士は直接に大名が自分の君主でありますから、君の御爲めといふとをいひましたが、つまり今日はそれが變つて皇室に直接し奉るのであります。

それから武士道に於て一番耻とする所は弱い者を虐めると、不義不正などをするのを一番耻辱とされ

て居りました。弱い者を虐めぬやうに他人の爲めにするので、それが今日博愛といふ精神に廣がつたのであります。是は矢張り鹿兒島の方の掟の中に其通りではないが、其意味のとがあるさうであります。それから其掟を守るといふとは申すまでもない、武士道の掟に従ふので西郷隆盛即ち南洲先生が、書きました兵兒組の規約を見せて貰ひましたが、簡單な三箇條ばかり書いてあります。之に觸れた者は寸毫も假借しない、自殺させる、自分が悪かつたら面目ないから皆の前で自殺させて呉れといふ、皆が立會つて自殺させる。又掟を重んじ名譽を尊重した昔の武士の精神が現はれて居ます。

勿論此三箇條ばかりを教へるではありません。約すれば三箇條でありますが、十箇條とか十二箇條とか訓練する箇條があります。要するに斯の如くして小さい少年の時から國家的國際的道德を訓練せなければならぬのです。國を忘れ君を忘れ親を忘れて自分さへ宜ければそれで宜いといふものは、實に國家を亡ぼすものであります。我儘で自然放縱に墮落するのを防ぐのは、子供のうぶな心の時から前のような訓練をすることが大切であります。

八

更に國際的の運動はどうかといひますと、もう世界が大戦争に依つて愈々戦争の悲惨といふとを知つて、大概は戦争しないやうに國際が平和を保つて行かなければならぬといふとを、つくづく感じたので

あります。併し平和を保つ爲めに皆軍備を撤廢して宜いかといふと逆もそれは出来ません。今日の人類の心理が變つてしまへば兎に角、今日の心理を以てしてはまるで軍備を撤廢するとは逆も出来ない。出来ないが國際聯盟、世界平和といふやうに段々と世界の平和に進むとは、皆識者の頭の中に望んで居る事です。

ところが子供といふものは面白いもので、喧嘩はするが執念がない。國の別を立て、利害得失を争ふとはない。子供の時から同じやうなユニフォームを着て、同じ敬禮の仕方をして、同じやうな所作をして、一つ所に集まつて同じやうに何かやつて遊ぶといふとは、非常な親みを作るもので四年前に英國で第一回の國際的ジャンポリーをやりました時には、皆様も寫真で御覽になり又色々なもので御覽になつたであります。非常な好い結果を得て一時は敵となつた國でも、子供に於ては敵も味方もないのでありますから、赤裸々の有の儘で親しく共同動作をしました。

此時丁抹に參つた者の歸つて來ての報告を聽きました。本當のインターナショナル(國際的)で、我國人は英吉利の子供とならば、少しは話が出来るが、丁抹の言葉などは知つて居る者はない。世界の三十三國の子供や指導者が集つて、さうして毎日寄つては色々な事をして歸りに日が暮れて月夜の晩なご暑い時ですから、山の路を各キャンプへ歸つて來る時に、その路で誰を捉へるのか、何處の國の黒ん

坊だか分らないが、お互にユニフォームを着て直ぐ手を取合つて、言ひ様がないからジャンポリージャンポリーといつて、ジャンポリーの歌を拵へて何だか意味が分らぬが歌つて居る。脊の高い人は脊を低くして子供と大人と一緒になつたり、非常に滑稽なやうであるけれども、それは本當に天國が此世に來たやうに愉快である。言葉は分らぬけれども、天幕の内に日本人を泊めて呉れて親切に世話をして呉れます。それが相互の様子で分つてしまふ。斯ういふ風にして段々と國際的の觀念を養つて行くことが出来るのです。

併し乍ら全くインターナシヨナリズムのみが世界を支配するかと申ますと、實はナシヨナリズムが今日世界の大勢となつて居ります。或人はリアクション（反動）だといひますけれども、それは何時だつて反動といへぬとはないので。極端にあんな馬鹿などをやつてアナキストなんといふものが出來て政府などは要らぬなどといふが、統一する機關が無くて人間互ひにやつて行くなごといふとが出來るものではない。コンミニニストにしても今の人間で逆も共產などといふとが出來るものではない。どうしても一度に突飛などをしてしないでお互に理解し合つて、さうして子供の時から國家、自分の國といふことを忘れないで、同時にインターナシヨナル即ち國際といふことを忘れぬやうにせねばならぬのです。それは丁度個人が自分といふとと人といふとを忘れぬやうにすべきと同じです。

併し今日は國家主義は世界に盛んに行はれて居ます、伊太利にはフアシストがあり、獨逸にも丁度同じやうなものが出て居ります。佛蘭西にも英吉利にも亞米利加にも國家主義寧ろ軍國主義といふべきとが行はれて居ます。實に何處の國でも國家主義を唱へぬ所はない。併し昔のやうに餘所の者はどうしても宜いといふのではない。自分の國は保護して行かなければならぬが、それと同時に他の國の發達を阻害してはならぬ。自分の國を利すると共に、外の國をも利して行かなければならぬといふ、人道といふとを頭に入れてやつて行くといふとを宗教家も學者も思想家も亦斯ういふ少年團の指導の任に當る人も務めて居るのです。

私が非常に興味を惹きましたとは、斯ういふことです。少年團員で昨年丁抹に参りました一人の少年が自分で従來の懺悔をした話を聽いて、私は涙ぐましくなりました。此少年の言ふのに、私は従來共產主義だの色々なものを讀んで、色々な考へを持つて居ましたが今度歐羅巴に行つて、實に國といふものゝ有難いと、大事など、又親といふものつくづく有難いと感じて、生れて始めて親に對する感謝の念が心から起つたといふのでした。年の若い人ですがさういふ風に世界の廣い舞臺を見ると思想が餘程變つて來る。日本ではどういふものですか、さういつたやうなことを傳へるよりは寧ろ赤化された色々な破壊的思想が世界の大勢であるかの如くに、何時でも傳へられて居る。伊太利のムッソリーニのやりまし

たなどは、日本には精しく傳へられて居ない。昨年一月一日の紐育タイムスなどには詳しく出て居るが日本などには新聞に一向出て居ない、是は不思議な現象です。

さういふ風にして青年男女が國の貴いことを知らず、國が貧しく非常に物價が高く生活が困難になつて今日程日本の危機に瀕して居る時はない。西洋に行つても——西洋でなくても滿洲に行つても愉快に生活されるが、我國では如何にも生活し難く國運が行き詰つたやうになつて居るのに、平氣で享樂したり國を呪つたりするやうなどを見聞するのは實に慨嘆の至りです。併し三千年來涵養された此國の魂は決して一朝にして亡びるものではありません。心あるものは奮ひ立つて此の困難に當るべきであります。

九

そこで話を少年團に戻りますが、ペーデンパウエルは千九百二年に戦争が濟んで歸つて來て計畫を始め、千九百八年に至つて教程を造りました。その基いた教程を最近に三島子爵があらへ行つて土産に持つて來て呉られましたものが、唯今こゝにありますから皆さんに御覽に入れます。英文と佛蘭西文と兩方出來て居ります。斯くパウエルは千九百八年に教程を作り、少年團を組織したのでありますからあまり古い事ではありませぬ。今年は二十五年でありますから十七年ばかりになります。それから千九百十八年に始めて女の教程が出來ました。初はボイスカウトといつて男の子ばかりでやつて居つたの

ですが、どうも人間としましては一朝事があつた時、全體の鍛鍊として男ばかりでは足りないそこでカールスガイドと名を付けて人を導き案内するといふ意味で千九百十八年に其教程が出来て今男と同じやうにやつて居ります。火事があつた時にはどうするとか、看護救急の事をどうするとか、皆女の實際上の事を訓練して居ります。

我國に於ては大正五年即ち千八百十八年に少年團が始めて出来ました。さうして今日は全國に純粹の嚴密の意味に於ての少年團としてやつて居るのは少いでせうが、少年團と同じやうな目的を以てやつて居りますものは、二十万人以上あるでせう。嚴密の意味に於ける少年團の訓練を受けて居る者の數は三万人位ある譯になつて居ります。まあ非常に盛んになつて參つたのであります。

儲そんなに大切なものにした所が若し是が子供の天性に合はないものであつたならば、そんなことをするのは無理であつて逆も出來得べきものではありません。そこで私は之を研究して是は宜いものであるといふことを信じて此爲めに力を盡すやうになつた所以であります。

どんな事でも教育に使はうと思つたならば、其受ける人即ち子供——大人でも宜しうございますが——其受ける人の心理状態、其心に合はなければいくら教育をしたとて効果の上るものではありません。丁度精神作用が向いてそれに興味を有つて喜んでそれをするといふとでない、唯壓迫してやつて

も進むものではありません。初めは喜ばぬ、譯が分らぬで居る、それはよく説明しなければならぬ。軍隊の生活でもさうです。軍隊の事を初めから喜んでするものではない。それには壓迫もしなければならぬ。併し壓迫をするのは其人を或る方面に向ける爲めにするので、それに向いたら面白くなつて來るのです。それにしても精神状態に合はなければ仕方がない。學校の教育に心理が必要といふことは其處から出て來るのであります。殊に小學校の教育は兒童心理を知らなくては出來ない。私はそれを專攻して居りますが、そんなことを専門に詳しく申上げる必要もありませんから、今日は大體を申上げますが、詰り少年團は子供の眞理に最もよく合つて居るのです。

少年團の仕事は總て遊戯に基いてやつて居ます、遊戯といふと一寸言葉が變ですが、日本で遊戯といふと詰らぬとになつて居りますが、私の今いふ遊戯は非常に大事などで、遊戯があるから子供が發達するといふても宜い。遊戯といふものは子供の發達の上に必要なことで、どうでも宜いといふものではないのです。あれに依つて總ての子供の心が啓發されて行くのです。そこで遊戯を發達階級に隨つて分けますと、大體三段になります、一番初めの遊戯は何かといふと個人的で一人でやる、競争などはやらぬ。一人でやる遊戯は何かといふと、子供が何か手に持たすと、それを落すとか、紙を持たすと、それを破るとか、ひつくり返して見るとかします。

一體遊戯といふとはどういふとかといふと、遊戯も一つのアクチヴィティー(活動)である。仕事も一つの活動である。お互に仕事をするには手や足を動かしたり色々活動します。遊戯も其通りであるが仕事の方には目的があり、斯ういふものを造らう、斯ういふ事をしようと思つて居るのです。そこで仕事には生産された結果が無くてはならぬのです、遊戯はさうではない。活動そのものの運動そのものがそのまゝ目的で、遊戯をやつて何を作り出すといふのではない。遊戯をやつて米を搗くとか、遊戯をやつて着物を縫ふとかいふのではない。唯運動するのが面白いからやるのです。それ故遊戯には何時でも快感が伴はなければならぬのです、然るに勞動即ち仕事の方は必ず苦痛が伴ひます。随つて遊戯と仕事とは同じ活動ですけれども、心情がまるで違つて居ます。

子供の小さい時幼稚園以下の子供は、個人的無競争的遊戯をします。自分勝手に面白いものを動かして見たり、破つて見たり、自分勝手に玩具を抛り投げたりして遊びます。其頃は少年團のやうなとは出来ないので、聯合して人と一緒にやる遊戯も出来ず競争する心も出ないので、五つや六つの子供は駆けさせて勝負を争はせてもその勝負の意味さへ分らないのが多いので保姆が熱心にやつて居るだけで負けた者が萬歳などといつて居ます。幼稚園の子供のする競争遊戯などを見て居ると、滑稽で笑はずに居られないのです。

ところが少年少女になつて來ると遊戯の性質が變つて來て、今度は必ず團體的の運動で仲間を作つてやり、競争をするやうになります。此年頃の子供は競争のない遊戯はやりません。小學校でする遊戯もさうです。或は相撲でも或は隠れんぼうでも綱引でも一切少年少女のやる遊びには、勝負が土臺になつて居ます。一人でやるといふとは、女の子は人形を飾つて遊ぶとが多少はありますが、それさへ朋友と競争したり一しよにすることが多く、運動としてやる遊戯は組を作り、團體を作つてやるのです。そんな遊戯をするのは社會意識が發達して來るからです。即ち自分以外に他人を認め團體の生活を認めて人と一緒に事をするやうになるより起つて來るのです。

十

それが起つて來ると今度は名譽心が起る。之に伴つて好闘本能や優勝の慾或は權勢の慾が起つて來ます。是は皆自然に少年少女期に起つて來るものです。是等は小さい子供の時には無いのですが、七八つから十歳を中心にして、少年少女の時代に出て來るのです。隨て此時ほど賞罰を強く感ずる時はないのです。詰り遊戯を三段に分けますが、もう十六七から二十、二十四五といふ青年期に入つて來ますと、子供の折のやうな遊戯はやりませぬ。團體的のゲームをやり、サイエンスを應用して嚴密の規則があつて餘程遊戯の性質が變つて來ます。

そこで少年少女を自然に任して置いて勝手の遊戯をやらせると、必ず仲間を作りその仲間が一緒になつて互に助け合つて活動して綱引をするのでも何をすることも、皆協同してやります。さうしなければ勝たず一人が勝つたとて他の者が負ければ駄目ですから皆一緒になつて勝負を争ふ、勝つた者は皆から賞讃を受けるから名譽心を満足させるのです。斯ういふ性質が少年にあるから其性質を利用して少年團が出来たのです。

飯を炊くのも遊び事としてやる、少年團の仕事としてキャンプライフといひまして天幕を持つて行つて其處に生活をして水を汲んで来る、火をおこす者があり、肉を切る者があり、飯を炊く者がありすつかり子供に一種の役割がある。準備をする、指導者があつて指導をしますが、指導者に對しては絶対に服従して色々なことをやる、それで自分等の力で出来たもので團欒して………是はパトロールシステムと申しまして、ちやんと班を分けて一班が六七人になつて居る。二十人以下の者がキャンプに這入つて澤山のキャンプが集つて團欒して草の上で話をする。リーダーが其處へ連れて行つて星の話、月の話、斥候の話をする。他のキャンプと聯絡を取るといふ風にして或は水のある所は皆に考へさせて、或は木を伐つてそれを溪流に渡しその木の枝を渡つて行くといふやうなことをやらせるとか、人間が人工のものでなくして自然のもので自分の力で生活が出来るといふ練習をさせる。だから寒いとか暑いとか苦しいと

かいつて居るとは出来ない。

子供が團體でかういふ事をすれば遊戯としてやります。然るに家庭に於て子供に朝早く起きて水を汲んで来いとか、肉をどうせよといつても決して子供はそれを喜んではいません。そんなことは女中にさせれば宜いといふでせう。親が命令してもなか／＼やりますまい。昔の子供ならばやらなければ首を斬るといつたら、絶対に服したかも知れませぬが今の子供はなか／＼そんな命令には服しますまい。

ところがそれを喜んでやる。お互に喜んで働くのです。ソーシアルマインド（社會精神）といふものは奇妙なものです。皆が一緒になつてやると却つて仕事をするのが愉快になつて、そこで子供が喜んで競争してあつちのキャンプで早くやつたから、こつちのキャンプでも早くやらうとか、巧みにやらうとか、すつかり競争して働きます。斯ういふ話をするのは失禮ですが便所までも掘るのです。丁度地震の時と同じやうに便所を作つて之を用ゐる出立の時には埋めて行つて、一つも害のないやうにしますのです。かくしてちやんと衣食住のことをさせます。

試に今日の教育を御覽なさい。今日は意志の教育を説き意志を鍛錬するといつても、唯々物を知らしめて居る、而かも日本の今日の學校教育は記憶ばかりが主になつて何でも覺えて居れば宜いのです。それで色々な不正な考へを起して試験にカンニングなどをやるやうになるのです。併し意志の教育に於て

自分にやらうとして見ればカンニングなどは出来ません。昔は弓馬槍劍の稽古で少くも侍の家では、盛んに意志を鍛鍊しました。殆ど意志ばかりといつても宜い位に鍛鍊された。侍がさういふ王合でありますから、農工商の子弟もそれに準じて擊劍をやらしたり柔術をやらしたり、矢張り困難に堪へる練習をやらしたものであります。

十一

然るに我國今日の學校教育に意志の鍛鍊は殆どない、唯運動があるが是も猶太の宣傳で男も女も各階級を通じてスポーツに入れて、段々國民の精神を頹廢させようとするのであるとさへいふ者がある。私はさうとばかり考へないが、併し今日女が飛んだり跳ねたり股まで出して競争するなどといふ、あんなとをしなければ、女の身體が發達しないものかどうか問題だと思ふ。どうして昔の日本に巴板額のやうな人が出たか、日本の従來のやうなやり方をしても、立派な体格の出来ない事はない。それならば歐羅巴の大陸に於てはどうかといふと、それはあるプロフェッショナルなものはいろ／＼の運動もするでせう。又アマチュア(素人)であつても親が娘を世間に知らせる爲めに運動をさせるといふやうなことが、佛蘭西あたりにも多少はあるさうですけれども、一般には決してあんな運動をすることでないさうです。あれは私は Yankee 流であると思ふ。日本は亞米利加から侮辱されて居りますが、今日日本の社

會を頽廢させたのは亞米利加の影響が大變にあると思ひます。

一體金さへあれば宜しいといふことが日本の昔からあつたでせうか、或部分にはあつたでせうが、少くとも金でどうでもなるといふことは、最も卑しんだものである。今日の社會は錢があれば何でも出来るといふことになつて居る。始終金で動いて居る。其の金次第といふ字は日本にはない。金といふ字に次第といふ字を付けて金次第といふ語を造らなければならない。ところが亞米利加で使ふ英語には金次第といふ言葉がある。ヴィーナル Vinal といふ字がそれであります。亞米利加といふ國は金さへあればよいといふ國である。何故かといふと日本のやうな古い國だと穢ない着物を着て居ても、あの人は斯ういふ家柄で、あの人は金は持つて居なくても家柄が宜い人で斯ういふ學問のある人だといふことが分る。けれ共亞米利加のやうな植民地的の新しい國では各國の人が集つて居るのであるから、良い着物でも着て金を持つて良い家にも住つて自動車でも乗廻さなければ人が願みない。

尤も今では亞米利加では自動車に乗るとは殆ど威張る限りでない。此間あちらの人の話に亞米利加では全國を平均して七人に一臺の自動車がある、ですから亞米利加人悉く一人も町を歩く者無く自動車に皆乗せてしまふことが出来る。といふ風に進んで居るから自動車に乗るのを誇る譯にはならぬ。何しろ金を澤山に持つて贅澤でもしたい人は亞米利加に敬服してしまふ。堂々たる我官立大學の教授であつて、

日本の言葉は野蠻の言葉であるから自分の家では英語ばかり両親が使つて、子供が日本語を使ふと叱るといふ人がある。是程亞米利加に心酔するやうな人が日本にある。亞米利加の宣傳でもないか知らぬが亞米利加の影響を受けたものは、運動でも何でも宜いものはない。併しボイスカウトのスピリットは日本と國體を同じくして居る英國から來て居るもので、英吉利は堅實な思想を有つて居るから亞米利加のやうなことはない。私は亞米利加に對抗するためにボイスカウトを盛んにさせたい。是に依つて缺陷である意志の鍛鍊をしたい、一體人は名譽心を利用せずして訓練の出来るものではない。武士道の如く名譽心を人の心性を造る爲めに使つたものは恐らく世界中に全くないことが少いでせう。

武夫は黄金も玉も何かせん

いのちにかへて名こそ惜しけれ

といふ和歌を乃木大將は作りましたが、其名こそ惜しけれといふ、名といふのは唯自分の姓名といふことではない、本當の道德的名譽である。人間名譽を重んずる心が無かつたならば、先きにも申しました通り耻を知らぬもので仕方がない。子供の時から本當の名譽心を養つて行かなければならぬ。日本では昔から死ぬにしても死後の有様に對して非常に教訓したものであります。武士といふものは切腹仰

付けられるといふことを名譽として喜んで切腹の儀式に従つてやつたものである。

然るに今日はどうです、死んだ後は野となれ山となれで何處へでも行つて腸が出て首がちぎれても死様がどうでも宜い、死んでしまへば宜い、詰り名譽などといふことをまるで打捨てゝしまふ。今死んで行くまでも自分を尊敬するといふことは貴い心だと思ふ。其名譽心が丁度少年の時に起つて来る。御覽なさい、十歳か十一歳位の子供は學校で何か宜く出来ると喜んで歸つて来て、親に見せるでせう。満足して譽めてやれば子供はどの位喜ぶか知れぬ。すべて此頃は賞罰といふことが非常にこたへる。少年團では名譽に掛けてといふとをいふ、私の名譽に掛けて神明を尊び皇室を敬ひます。私の名譽に掛けて團の掟を守りますといふのです。名譽といふとを始終尊敬し、自分の名譽を毀損されたとか、少年團の名譽を汚したとかといふ場合には、まるで昔の武士のやり方を現代化して使つて居るのであります。

さういふやうに名譽は非常に人の心に影響するのでありますから、それを利用して階級を付け色々の徽章を澤山付けるのです。徽章などといふものは如何にも子供らしいものでありますから、子供には子供らしいものを使はなければならぬのです。それで色々な仕事がありますが、何か出来るやうになりますと一々徽章を付ける。鶏を飼はして鶏を飼ふのが上手になると其徽章を付ける。電氣をいじる、電氣がいじれるやうになると電氣の徽章を付けてやる。或は活版のなどをやらしてそれが出来るやうになる

ど又其徽章を附けてやる。だから英吉利の倫敦などへ行くに十五も二十も徽章を附けて居るボイスカウトがある。是は何處かへ備はれる時でも大變に宜い。其少年團で練習してそれがあるといふと、もう出て居るといふとが分るから直ぐに備はれるといふやうになつて居る。

少年團の訓練はブルジョア階級ばかりではない。プロレタリアの子弟に必要です。労働者の子弟に義勇愛國の精神を養ふ必要がある。實際に就いて調べて見るとそれは驚いたものであります。私は時々労働者の子弟などに接することがありますが、まるで君だとか國だとかそんな考へは毛頭ない。天子様と自分とはどんな關係だかどうして日本に皇室があるのか、親の恩とか師の恩とかいふとも知つて居る者は少ない。我國では忠孝を大切の道徳として小學校で教へて居るのですが今でも東京市内を歩いて居る六千か七千の不良少年の中は學校の門を潜つたともない、君とか親とかいふなどは全く考へたともない様な者が多いのです。斯ういふ者をどうしますか、皆小學校に入れようといった所が將來は兎も角現在ではとても出来ません。併しどうかしてかういふ子供を教化しなければなりません。全體子供はユニフォームを喜ぶものでありますから、貧民の子弟にユニフォームを着せて、さうして己れも國を守る人になつたのだ、己れも忠義を陛下に盡さうといふ考へを小さな時から持たせるといふことは大事なことであると思ひます。兎に角少年少女を訓練して段々階級を上げてやり、大概八つから始めて十八まで行

きまして、それ以上になりますとリーダーにする。十五六から十八まではオールドスカウト、それから上になるとリーダーにするのです。斯くして次第に責任を持たせると自己を重んじしむることも出来て来るのです。

十二

私は最近英吉利のヴェンブレイといふ所で、英吉利の各種民地屬領地から来たスカウトを集めて、約二萬人ばかりのジャンボリーをやりました時に、英吉利の皇帝が少年に分るやうに勅語を賜はつた——演説をして御やりになつたのを讀んで感じました。丁度此處にありますから皆さんに御聽きを願はうと思ひます。是は非常に優しい言葉を御使ひになつて居ります。實は私の子供も長い間スカウトに居りまして、今は中學の五年になつて居りますから屹度讀めるであらうと、是は英國の皇帝が英國のスカウトに賜はつた勅語であるが、お前讀んで翻譯しろといつて渡しました。其翻譯は別に意味は少しも間違つて居りませぬでしたが、少し語句の悪い所を直して是（『少年團』研究といふ雑誌）へ出したのですが、如何に皇帝が親しく御自身が體驗なさつたことに依つて少年に分るやうに御説きになつたか、又如何にペーデンパウエルの趣意を皇帝が御酌取りになつて此事を御理解になつて居るかといふことが此勅語で分るのであります。

勅 語

朕は今日此所に諸子に會ふ機會を得たことを喜ぶ、朕は非常に忙がしいとはいへ、諸子に會はずして倫敦を去ることは朕の堪へ得ぬ所である。朕は諸子の甲斐甲斐しき様子と立派なる訓練を祝福せんと欲する。

朕は諸子が英國を訪問したことは、諸子に取つて興味あることであり、又後年の樂しき思出となることを信ずる。

諸子はヴェンブレーに於ては、定めし多忙なることであつたらう。併し朕は諸子が故郷の學校にあつて一年間に學びたる所のものよりも、一層多くのことをヴェンブレーに於て一週間過すに依て學ぶといふとを疑はぬ。

朕は丁度、朕が諸子の中の或者位の年齢であつた時に、世界一週の途に就いた。朕は當時唯十四歳であつたが、其旅は朕に取りて非常に好き經驗となつたとを諸子に保證する事が出来る。

一たび少年團員となつた者は、一生少年團員であるとは、キツチエナー卿が或時少年團を檢閲して述べたとがある。朕は諸子がキツチエナー卿が何を意味したか、又今朕が何を意味するかをよく了解したであらうと思ふ。即ち諸子が少年團に入團した時に誓つたとは、諸子が少年團を出てから

も一層嚴守すべきを意味するのである。さうして諸子が此言葉を守るとは諸子を一層善良なる市民とし、又諸子が國民であることを誇りとすることを國家に對して、信用を與へる所以も、此に存するのであらう。

朕は此大ジャンボリーが大成功（朕は必ず大成功すると信するのであるが）を遂げるとを望んで居る。朕は自身諸子に會ふ爲めに旅行に行くとの出来ぬを残念に思ふ。併し我皇太子が一兩日を諸子と共に過すといふことを知つて居る。朕は諸子の幸福と無事故郷に歸ると、さうして此英國を訪問したといふ楽しい此道行を思出すとを望む。

此勅語を賜はりました折、丁度日本の少年團員が其處へ列席を許されて拜聴したといふとであります。私は是は倫敦タイムスから見て譯させたのですが、歸つて來て聞きますと、日本の少年團員は直ぐ側で拜聴したといふとを申して居ります。之を以て諸君が御察し下さつても如何に英吉利で、皇帝を始として總ての人が理解して居るかゞ分りませう。殊にキツチエナー元帥がいつたといふ、生涯に於て一度少年團員であつた者は子供の時から、三綱領を頭に入れて居るから、其三綱領を守れば確かに此現代の缺陷を救うて、國を忘れ皇室を忘れないといふ臣民となることが出来るのでありますから、私は非常に宜い言葉だと思ひます。殊に美しく思ひましたのは、ウエストミンスターに行つた時、あそこの大僧正が出

て來て子供に話したことです。是は翻譯させませぬでしたが、もう此處に來て此處に葬つてある御墓を見れば私共は何もいふことはない。大僧正が此處には斯ういふ人もある、斯ういふ人もある。是は皆々國の爲めに盡して呉れた實に世界的の偉人である。どうぞ諸君も斯ういふ人達を御手本として行くやうにといふ外には何にもいふことがないというたのです。あそこには歴代の偉い人が葬つてありますから、實に私共羨しく思ひました。斯んなにして英吉利では子供を訓練して居るのです。

我國は今實に危機に瀕して居る非常に困難の時である。此時に當つてはどうしても國民の精神を振起させなければならぬ。尤も今はアデルトエヂュケーションとて、現在の大人を教育することもありますが、現在の人を變へることは困難である。子供の純潔の間から養成して行けば、喜んで人の爲に働き、喜んで困難に堪へ、色々事變に遭つた時にも我れは少年團員であるといふ心から勇んで義に向ふでせう。今でも少年團員で電車に乗つて居る時に、自分が腰掛けて居つてお婆さんか何か來れば直ぐに席を譲ります。即ち其子供は自分が少年團員であるといふ心、丁度我れは侍であるぞといふ心に於て譲るのであります。

十三

大變長く時間を取りまして恐縮であります、最後に私は此御席にはお父さんもお母さんも御出でと

思ひますから、一言子供の教育に就いて申上げて置きたいと思ひます。最近に英吉利から歸りました人の話で、其人から聞きましたし又私も書物で読みもし知つて居ることではありますが、最近に於て殊に感慨無量に堪へぬことは英吉利でお母さんが子供が何か卑怯なことをするといふと、お前はゼントルマンではないか、それでゼントルマンになれますかといふと、子供が情げて私が悪うございましたといつてあやまるさうです。英國でゼントルマンといふことは丁度日本に於てお前は侍でないかといふたのと同じやうな力があるのです。

私はそれを聞いて本當に感慨無量でありました。私は母から教訓される時に、お前は侍の子ではないかといはれると、びりゝと感じました。負けて泣いて來るとか、悪戯をしたとか、弱いものいじめをしたとかいふ時に、侍の子は決してさういふことはするものではないと始終教はつて居ました。ゼントルマンといふ言葉は日本では紳士と譯されて居りますが、御承知の通り日本の紳士といふ者は夜一時過までも自動車へ藝妓を乗せて、ブー／＼歩いてさうして方々飲んだくれになつて歩く、日本で紳士といふ言葉は非常に悪い意味に使はれて居る。情けないことであります。日本の紳士といふのはヴィーナルの人間で金さへあれば宜い。綺麗な着物でも着て醜業でも營むやうな女でも連れて歩かなければならぬやうになつて居るから、日本の子供にお前紳士ぢやないかというても、何とも感せず益々贅澤をするやう

になつて來るでせう。

英吉利のセントルマンは随分立派な人柄で皆様に申上げるまでもない。御存知のことでありませうが一體其國の言葉でいひ現はすの中には他の人が到底察することが出來ない。又其國に居てもよく分らない程立派な言葉がある。例へば日本の勿體ないといふ言葉などはその一例です。私は斯んな立派な言葉は世界中にないと思ひます。此勿體ないといふ言葉にどれだけの意味が含まれて居るか。私は心理學を何十年も研究して居ますが、なか／＼之をすつかり解剖するとは出來ません。勿體ないといふ言葉は足利の末、徳川の初頃まではやくざもない、仕方がないといふ意味であつたが、今日は勿體ないといふ言葉は感謝の意味もあればお氣の毒といふ意味もあり、尊敬する意味もあれば、愛慕する心持もあり、恐縮する心も懐しく親む意味もあると思ひます。此勿體ない有難いといふとは人間にはなくてはならぬとであります。併し有難いといへば道徳上の意味で、勿體ないといふと宗教的の意味が入つて來ます。英吉利のセントルマンといふ言葉も、これと同じやうに一種特殊の包含的意味があるのです。我國では今でも田舎に行くに勿體ないといふとが用ゐられて居ますが、都會では殆んど絶滅せんとして居ます。そこで英吉利で用ゐるセントルマンといふ言葉を皆さんの御参考の爲めに一寸此處で讀んで見ますが、是は二荒伯爵が日本人と英吉利人と亞米利加人と佛蘭西人と四箇國人の寄つて拵へました禮儀作法

を書いた書物を集めて、其中から英吉利でいふ紳士といふその意味を自分の意見を加へずして、さういふオーソリテターの著書の中から集められたものであります。

紳士とは金持でもない、高位高官でもない、美服を纏ふ者でもない、其外觀も何處となく能く整うて何事につけても絶えず他人に不快を感せしめないやうな者である。要するに其一舉一動は探つて以て他の模範となすに足るといふのでなければならぬ。再言すればとして、爰に簡條が澤山擧げてあります。

彼は性質が正しい。彼は眞摯である。真面目である。彼は何事にも突飛でない。何事にも極端でない。

彼は沈着である。彼の動作は優雅であつて、彼の辭令は高尚であり莊重である。彼の言行は常に公明正大である。彼は言行に俠である。彼は屈從的でない。彼は自己に就いて語らない。彼は饒舌でない……

……彼は必要以外に自己の爲めに強辯せぬ。彼は如何にいふべきか、又何時いふべきかを知る、彼は他の言行を見るに常に善意を以てする。彼は他の主義主張を尊重する。彼は他の意見を容るゝに吝でない。

彼は利己主義でない。彼は行を改むるに憚らない。彼は怨を忘るゝに速である。彼は上長を敬し下を愛しむ。彼は上下に對し一様に懇切である。下級者を酷使するのは成り上り者である。彼は上に諂はず又下を侮らない。彼は傲らず謙遜である。彼は下級者に寛であるが、是すら慣れしめるやうなことはない。彼は恩を知り功を認める。彼は邊幅を飾らぬ。彼は服裝を清潔にしてよく整へる。彼の好みは高尚で派

手でなく濼い。誰人も富豪たる能はず然かも如何なる貧者如何なる下級者も悉く紳士たり得る。

十四

私は實に英國の家庭を羨しく思ひます。お母さんが子供をかう言つて叱つて居るさうです。お前紳士になるのではないか、そんなとで紳士になれますかど。丁度吾々が昔侍ではないかといはれたと同じやうに、今英吉利では其通りの教育を施して居るのです。今日本の言葉を以てすれば何に依つて諸君はお子さんをお勵ましになりますか、日本では紳士といふとは權威がない。侍といふものは無くなつたからそれはいへず、仕方がない、一番高尚に純理想的に考へれば、お前は人間ではないかといへば宜い譯ですが、それでは些とも感じがないでせう。私は將來日本の少年少女を皆少年團に入れて、お前は少年團員ではないか、といつて警醒鼓舞するとの出来るやうにしたいと思ひます。少年團員は弱い人を助けるをしなければならぬ、人の爲めに自身を犠牲にしてもやらなければならぬ、少年團員は團の規則を守るといふとを誓つた。總べて自分の守るべき規則を守るといふとは正しいとである。神明を尊ばねばならぬ。……此神明といふ言葉に就いても私は色々考へて見ましたが、神明といへばゴッドを指さうが佛陀を指さうが、人間以上の宇宙の絶對であるといふ考へで之に賛成しました……。詰り無神論者でなく人間以上の御方を尊敬すると同時に皇室を敬ふ、斯ういふことを綱領とする。今私共が少年團のユニフォーム

シャツを着て歩くと何處へ行つても世界中の少年團員が皆三つ指を上げて敬禮をします。假令先方では制服を着て居ないでも私は少年團員ですがといつて自分の少年團員たることを證明するものを見せて、何でも親切にして呉れるのです。是れは丁度基督教徒が世界各國へ行つて互ひに親しくするのと同じやうに、國家の違ひも見ず、人種の隔てもせず、少年團員といふと親しい感情を持つのです。之を内にしては國家的に日本の少年團員といふものであり、又之を外にしては國際的に此新武士道を弘めて、而かも是が日本から起つたものであるといふとを自覺して行くことは、日本國民としての責任であるといふことを私は痛感した次第であります。詰らぬとを長く申しまして御退屈でございましたと存じます、失禮いたしました。(丁)

スマトラ航海中

またひこ

ささやけき小岩の上に一二本

椰子の木見え、燈臺のたつ

宜 蘭 道 上

東 嶺

二十年前 虜 幾 度 征。 山 容 水 態 入 吟 情。

登 攀 葱 嶺 臨 東 海。 風 爽 天 風 依 舊 清。